

多文化共生社会の構築には何が必要か ～行政との協働へ向けて～

主催：多文化と共生社会を育むワークショップ、兵庫自治学会、神戸山手大学、神戸学生青年センター

趣旨

多文化共生社会を築いていくなかで、生活・労働・社会保障制度・教育と多面的にデザインしていく必要がある。

外国人受容れの実態に対する理解が広まりつつある。一方で、教育問題や入居差別など様々な課題も存在する。本シンポジウムでは行政職員、大学教授、メディア関係者、そして、ニューカマー・オールドカマーの方々の多彩な識者と一緒に、兵庫県・神奈川県や愛知県、アメリカ等国内外の事例を交え、多角的な視点から政策提案を目指し、今後の多文化共生社会におけるまちづくりについて考えていきたい。

プログラム

- **開会の挨拶** 小林 郁雄 (神戸山手大学教授・多文化WS)
- **基調講演** 「神奈川の多文化共生」
西村 明夫 (MIC かながわプログラムアドバイザー)
- **兵庫県の現状と取組み**
兵庫県産業労働部観光・国際局長 多木 和重
「兵庫県の地域国際化について」
兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課係長 近都 学
「兵庫あんしん賃貸支援事業について」
子ども多文化共生センター所長 細川 明子
「子ども多文化共生教育について」
- **パネルディスカッション**
パネリスト 西村 明夫
野呂 雅之 (朝日新聞論説委員)
山本かほり (愛知県立大学准教授)
李 圭燮 (韓国民団兵庫県本部副団長)
エドワード須本 (ミックスルーツ関西代表)
コーディネーター 山地久美子 (神戸山手大学非常勤講師・多文化WS代表)
- **総括** 芹田健太郎 (愛知学院大学教授・神戸大学名誉教授)
- **閉会の挨拶** 兵庫自治学会事務局
- **総合司会** 藤井 英映 (兵庫県産業労働部観光・国際局、多文化WS)

日時

2009年3月7日(土)
13:30~17:00

会場

神戸山手大学
第3号館 210教室

参加 無料 定員 80名

協力：NPO 法人神戸まちづくり研究所、FM わいわい

お問い合わせ・申し込み

〔申込方法〕お名前・所属等・ご連絡先を記入の上、Eメール、または、FAXで下のいずれかの主催団体に事前にお申込みください。
※当日の参加も可能です。

- 多文化と共生社会を育むワークショップ 代表 山地久美子
Eメール：tabunkakyouseiws@yahoo.co.jp
- 神戸学生青年センター
TEL.078-851-2760 FAX.078-821-5878 Eメール：info@ksyc.jp
- 兵庫自治学会 (事務局：(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構)
Eメール：gakujutsu@dri.ne.jp FAX.078-262-5122

地図



(ふりがな) ご氏名		所属等	
ご連絡先	TEL・FAX： E-mail：		